

# チャノキイロアザミウマ情報第4号

平成25年8月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 発生の状況

カンキツほ場に設置した黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの誘殺数は、蒲郡市では7月第1～2半旬、南知多町では7月第3半旬に、第3世代成虫の発生ピークを迎えました（図）。

7月下旬に実施したイヌマキ（防風垣）におけるチャノキイロアザミウマの生息数調査（県内カンキツ23ほ場の10新梢の払い落とし虫数）では、1.1頭（平年6.0頭）となり、平年に比べ少ない発生量でした。

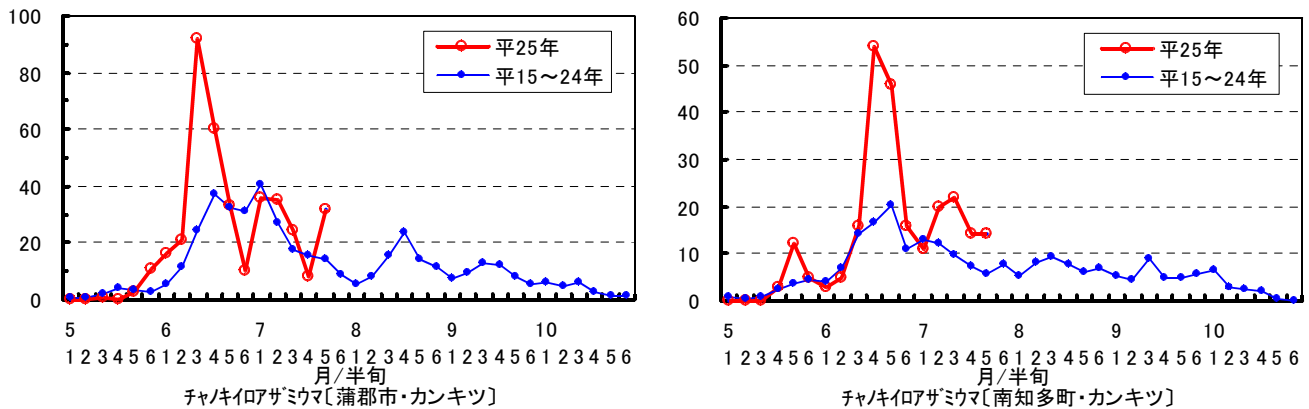


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

## 2 発生ピーク日の予測と防除

カンキツでは、この時期に加害されると果頂部に被害が出ます。成虫発生ピーク時の農薬散布が効果的であるため、発生の多いほ場では、チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日（表1）及び防除薬剤（表2）を参考に防除しましょう。有効積算温度から計算した発生ピーク日は、平年より2～3日、前年より4～6日早くなっています。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

世代	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	稲武
第3世代	7/07	7/08	7/04	7/08	7/10	7/08	7/08	7/08	7/30
第4世代	7/25	7/25	7/22	7/27	7/28	7/26	7/26	7/25	8/20
第5世代	8/11	8/12	8/08	8/14	8/14	8/12	8/12	8/11	9/13
第6世代	8/28	8/29	8/24	8/31	9/01	8/29	8/30	8/28	-
第7世代	9/16	9/19	9/11	9/21	9/21	9/17	9/18	9/16	-
第8世代	10/14	10/18	10/04	10/23	10/23	10/12	10/12	10/12	-

※アメダス気象データから有効積算温度を計算し、予測に利用しています。各地の気温は7月31日までは実測値を、それ以降は、豊橋では前年値、それ以外の地点では平年値を用いて計算してあります。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
カキ	ダントツ水溶剤
	コルト顆粒水和剤
	モスピラン顆粒水溶剤
カンキツ	モスピラン顆粒水溶剤
	ベストガード水溶剤
	コテツフロアブル

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。